



OnTime[®] GROUP CALENDAR

for Domino

アップグレードマニュアル (Ver.10.0.1-)
インストーラー利用アップグレード手順

OnTime Group Calendar Direct Shop

2022/12/07

目次 Installer.nsfを利用したアップグレード手順



- 作業端末のNotes\data配下にTempフォルダ作成 p.4
- 作成したTempフォルダ内に新Verのファイルを配置 p.5
- OnTimeサーバーのDomino停止 p.6
- OnTime関連のファイル名変更 p.7
- OnTimeサーバーのDomino起動 p.8
- GlobalSettings文書のテンプレートフォルダの指定 p.9
- ServerSettings文書内のファイルパス変更 p.10
- Notesクライアントから Installer.nsf の起動 p.11
- アップグレードの実行 p.12
- ※複数サーバー構成の場合のみ
 - ServerSettingsビューで設計の置換/ Servlet更新 p.15
- データのリフレッシュ作業 p.17
- クライアントで動作確認 p.21
- 引き続き新機能の設定も行ってください p.25

**OnTimeの設定作業
にはNotes 10以上の
クライアントが
必要です。**

**OnTime Desktop
クライアントは
Notes 9.0.1 FP10以上で
ご利用いただけます。**

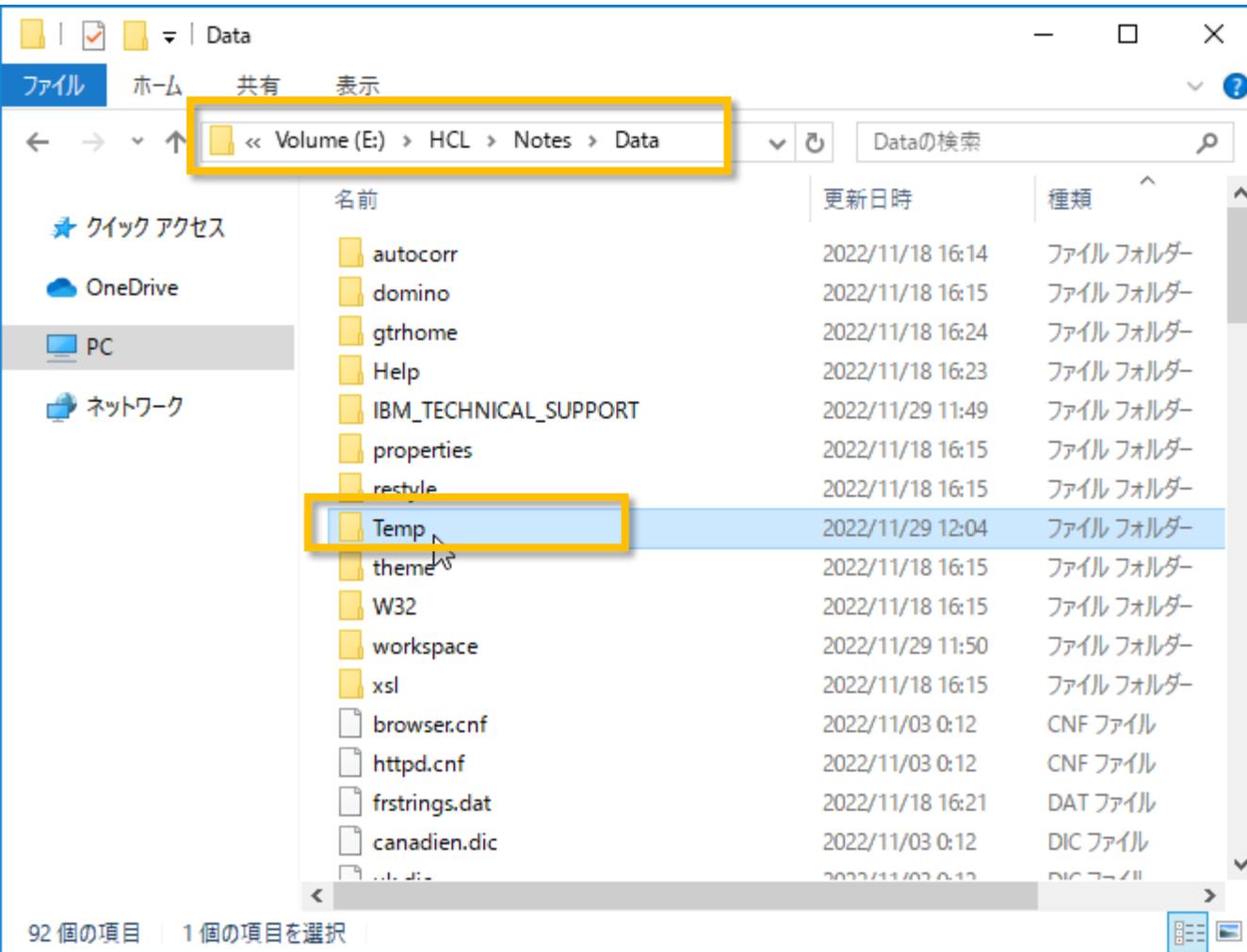


Installer.nsfを利用したアップグレード手順

従来のアップグレード手順を御利用の場合は、
別ファイル「アップグレードマニュアル-従来のアップグレード手順」を
参照してください。

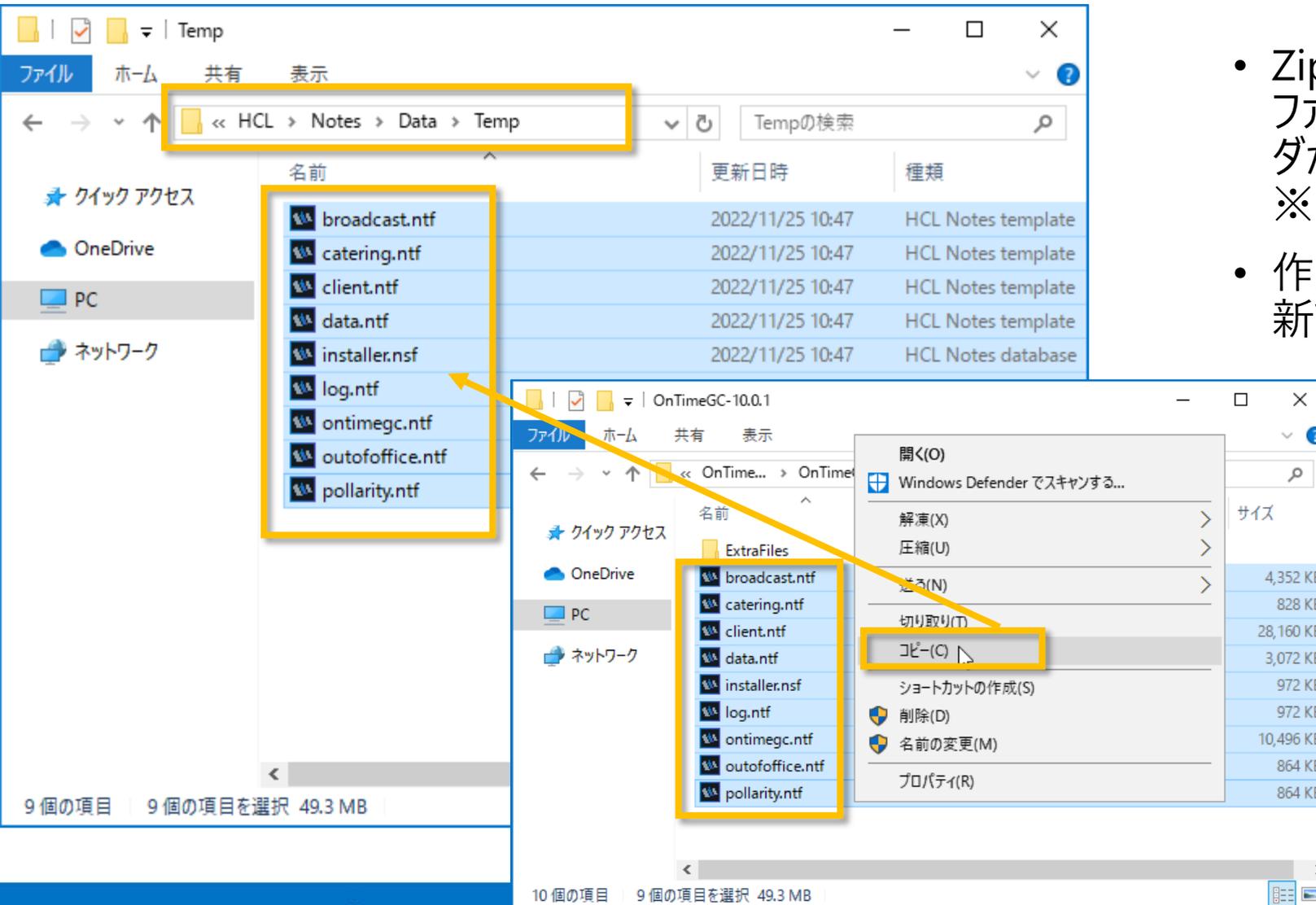
※OnTimeをDomino¥Dataフォルダの直下で運用されているお客様のうち、
これを機会にファイルパスをOnTimeフォルダ配下に変更されるお客様は
アップグレードを弊社でお手伝いいたします。お気軽にお問い合わせください。
現在の御利用環境でOnTime関連のファイルがData直下に存在する場合、
必要なnsf/ntfファイルの移動の他、jarファイルの移動等、考慮点が必要になる可能性があります。

作業端末のNotes¥Data配下にTempフォルダ作成



- 作業端末のNotesクライアントのNotesのDataフォルダ配下に、Tempフォルダを作成してください
(フォルダ名は任意です)
既にOnTime用に作成済みの場合はそのフォルダを利用できます

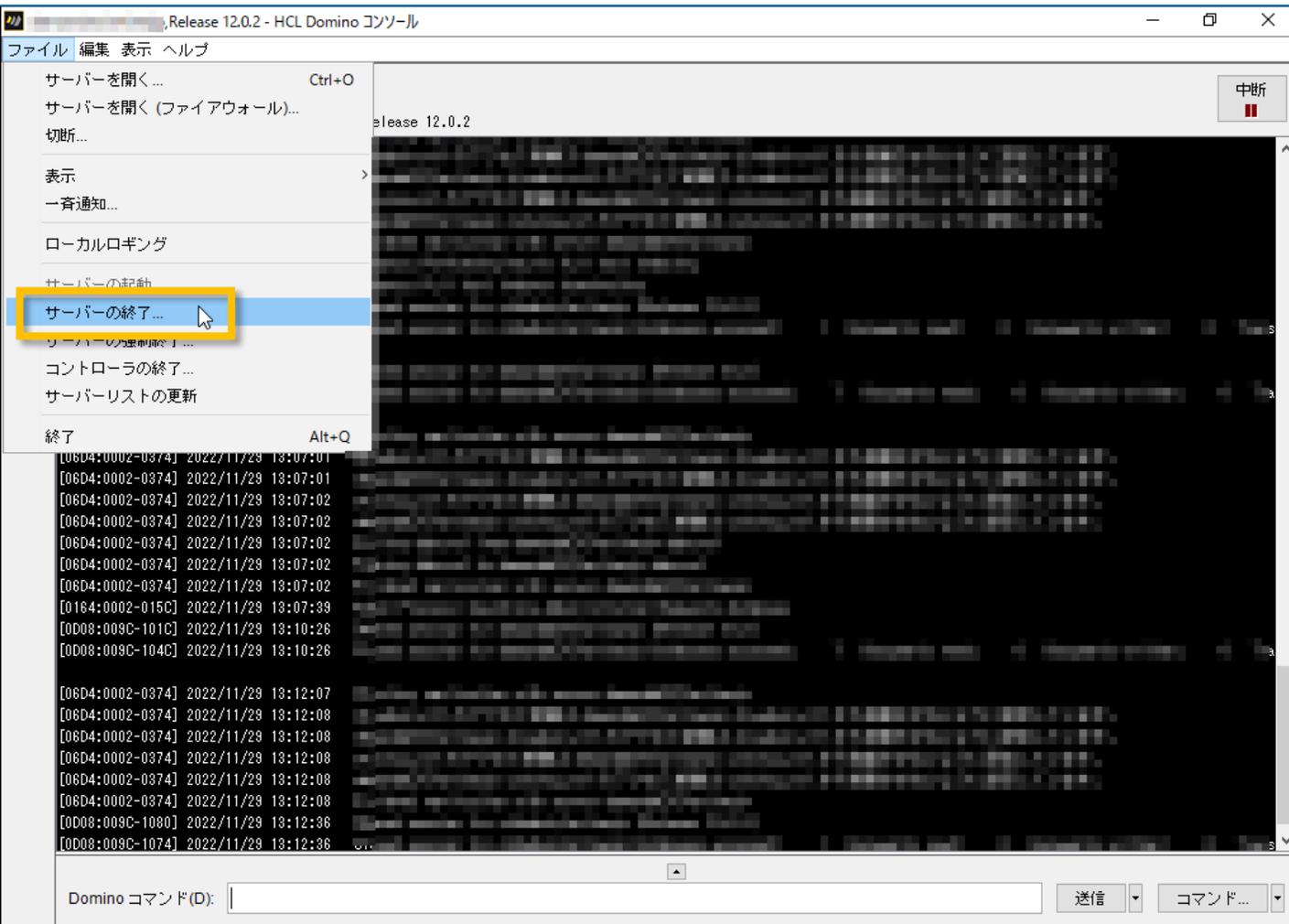
作成したTempフォルダ内に新Verのファイルを配置



- Zipファイルを展開すると各種テンプレートファイルとInstaller.nsf、ExtraFilesフォルダが解凍されます
※ExtraFilesフォルダは通常使いません
- 作業端末に作成したTempフォルダ内に新Verのファイルを配置してください

※二回目以降の実施時、既に以前のファイルが存在する場合は上書きしてください

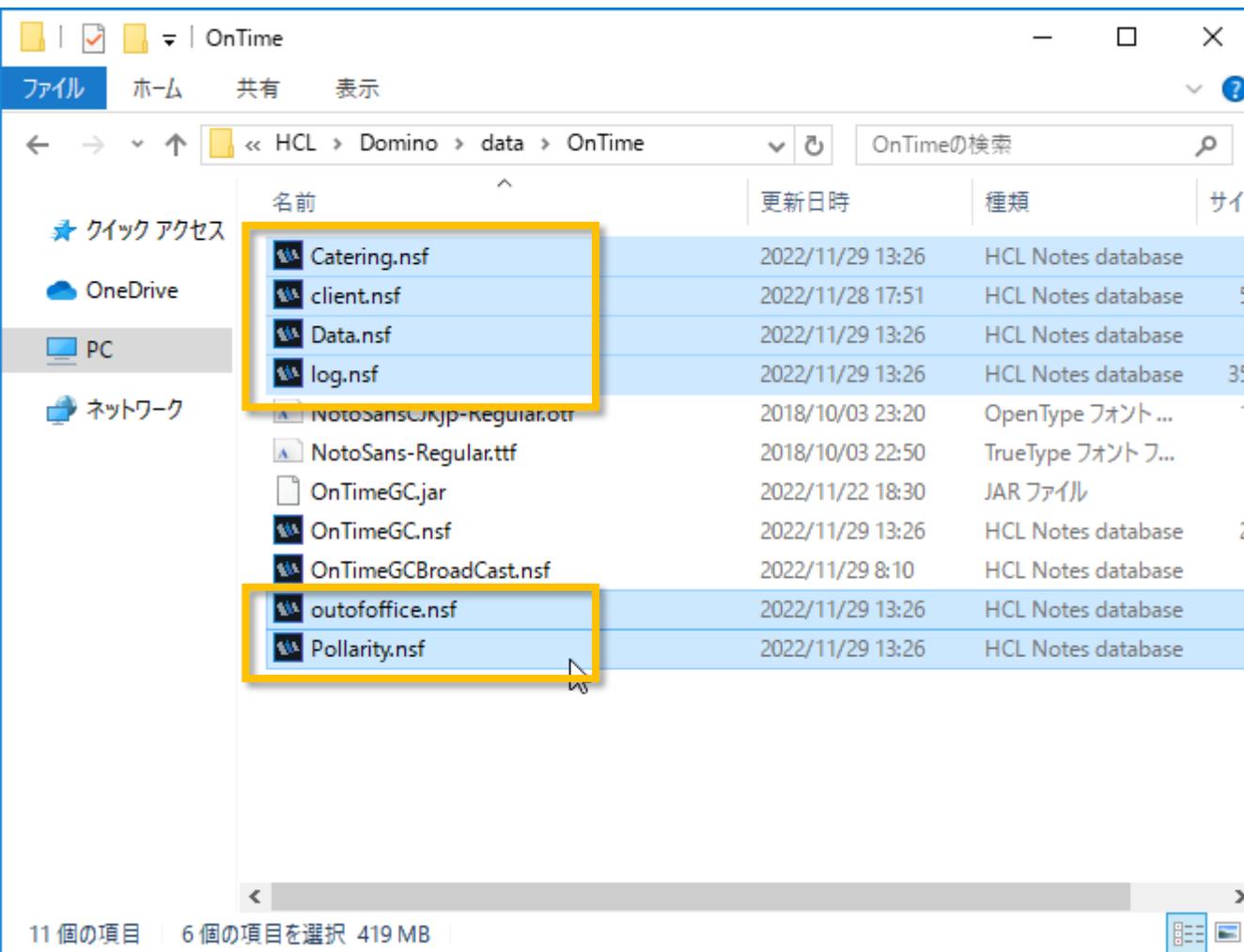
OnTimeサーバーのDomino停止



※Installer.nsf を利用した新規インストールやアップデートを実施済みの場合は本手順は必要ありません

- 次の手順で既存のOnTime関連の nsf ファイル名の変更や、配置パスを変更するため、Dominoサーバーを停止します

OnTime関連のファイル名変更



※Installer.nsf を利用した新規インストールやアップデートを実施済みの場合は本手順は必要ありません

- OnTime関連の以下ファイル名を変更します

OnTimeGCClient.nsf ⇒ Client.nsf

OnTimeGCData.nsf ⇒ Data.nsf

OnTimeGCLog.nsf ⇒ Log.nsf

OnTimeGCoutooffice.nsf

⇒ outooffice.nsf

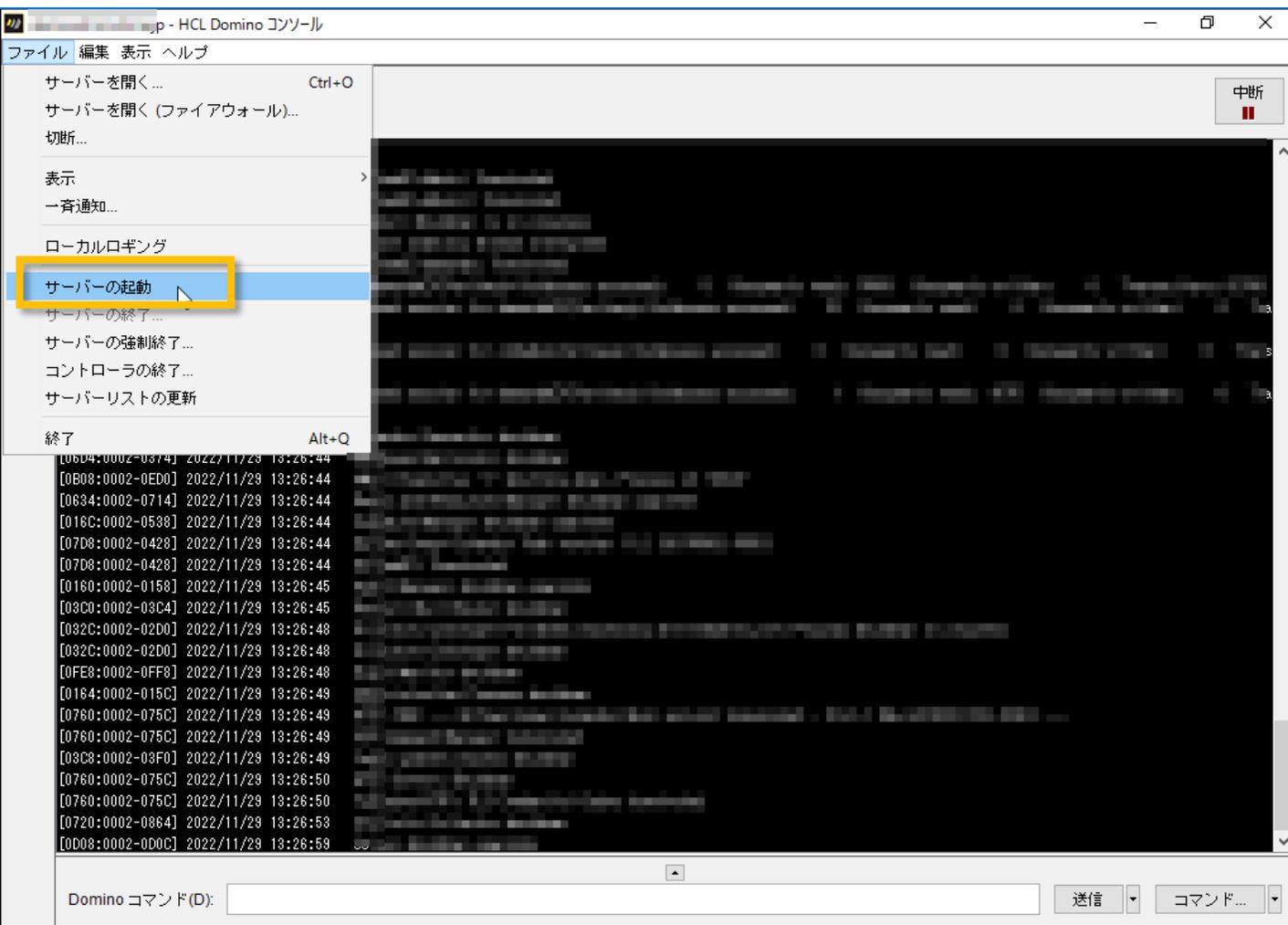
OnTimeGCPollarity.nsf ⇒ Pollarity.nsf

OnTimeGCCatering.nsf ⇒ Catering.nsf

※設定済のBroadcastに関連するDBに関してはファイル名を変更しないでください。

OnTimeGCBroadcast.nsf 等

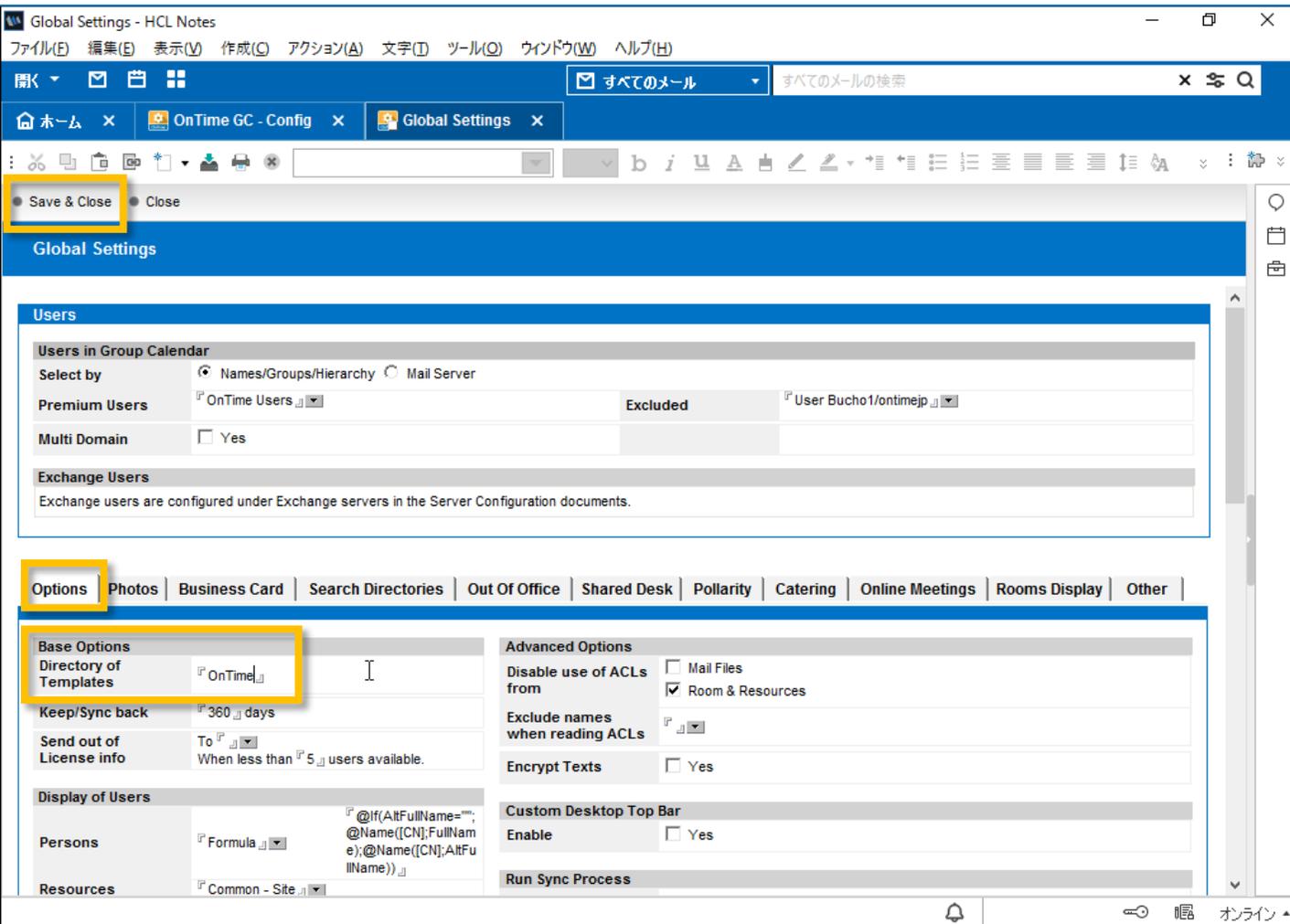
OnTimeサーバーのDomino起動



※Installer.nsf を利用した新規インストールやアップデートを実施済みの場合は本手順は必要ありません

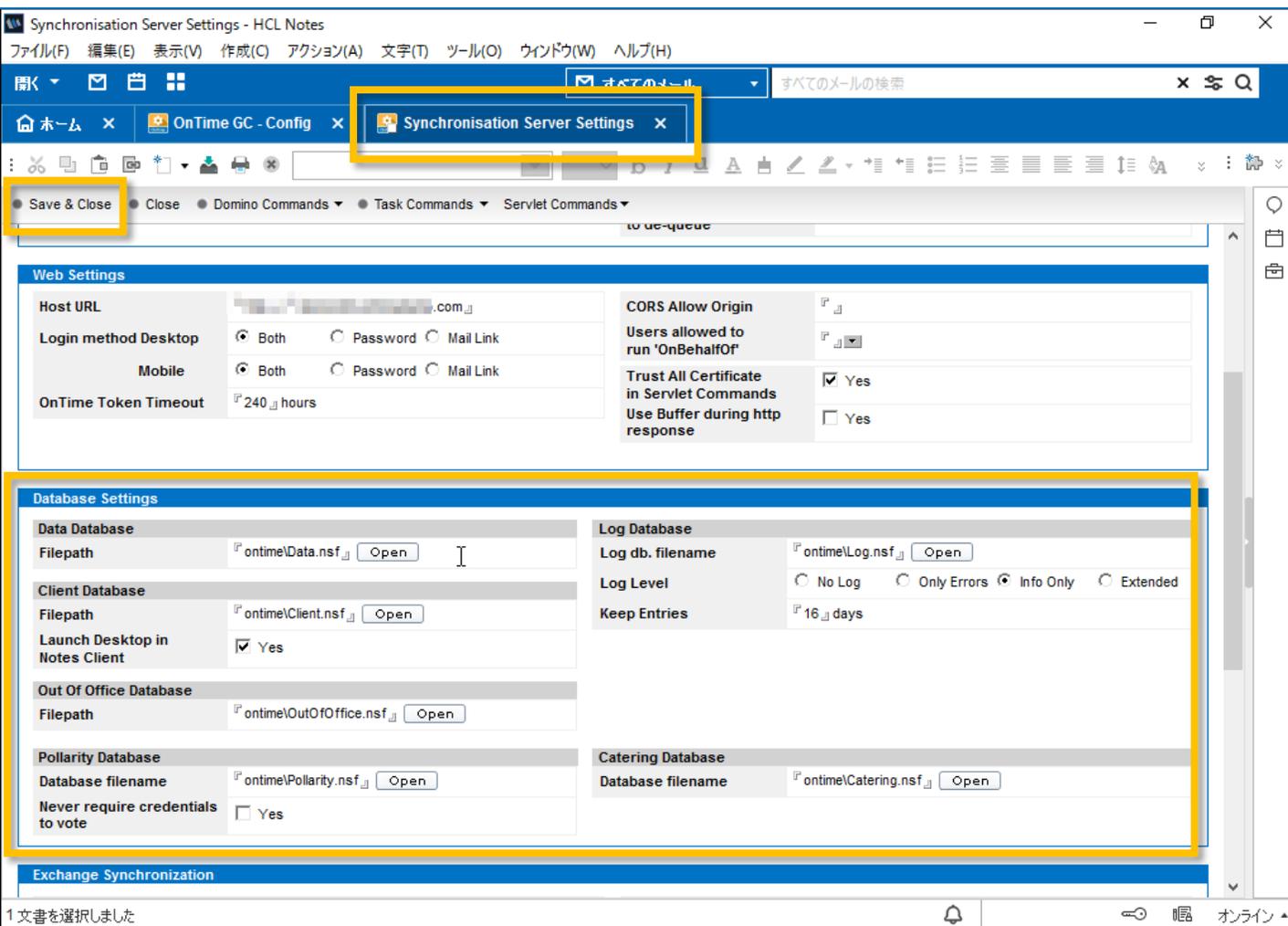
- 停止したDominoサーバーを起動します

GlobalSettings文書のテンプレートフォルダの指定



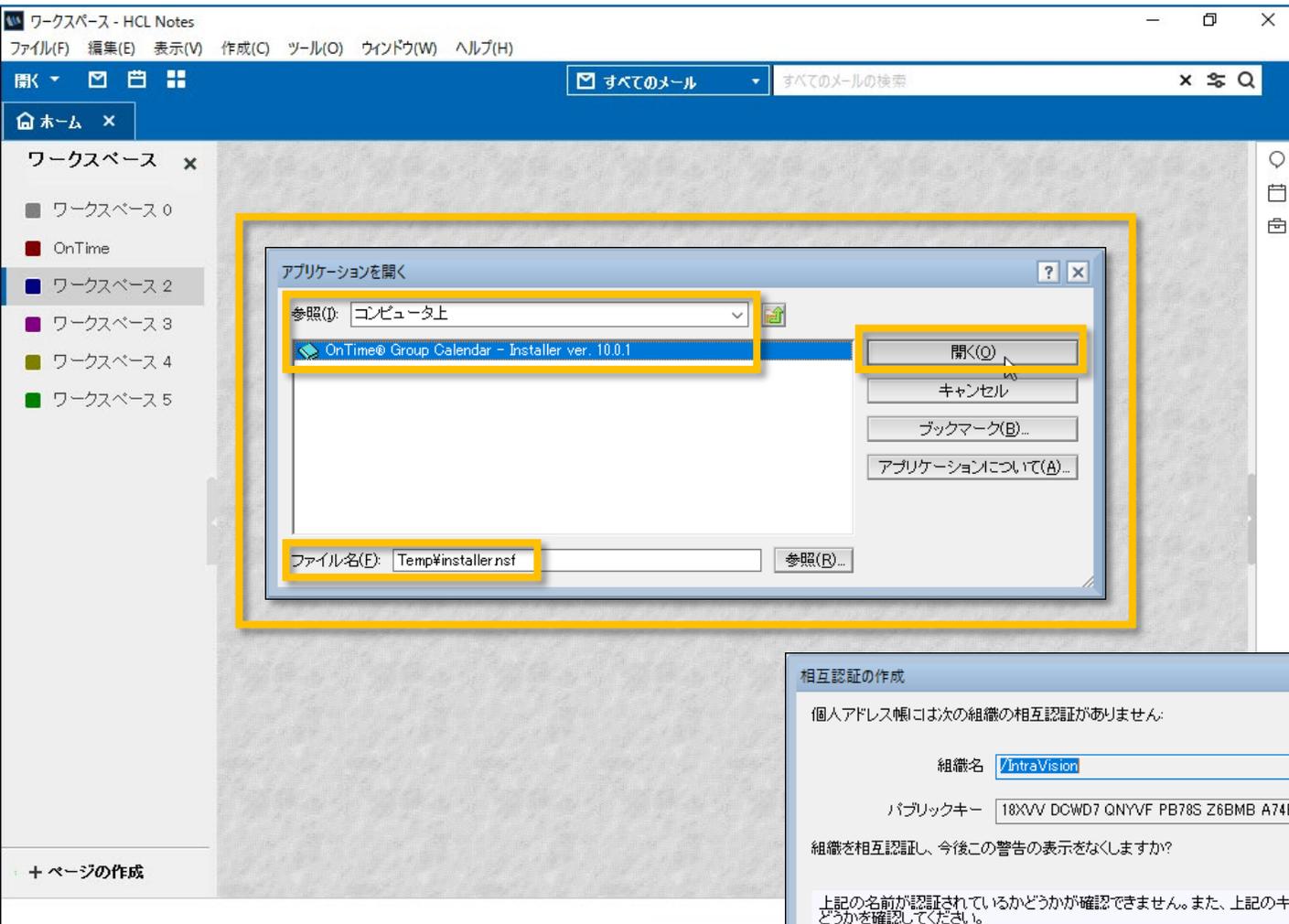
- OnTimeGC Configのデータベースを開き、GlobalSettings文書を編集します
- Optionsの「Directory of Templates」の値を OnTime に修正し「Save&Close」ボタンで文書を保存して閉じます
 - ※再度GlobalSettings文書を開き、値の変更が変更されていることを確認してください
 - ※二回目以降の実施時、値の修正が不要な場合でも文書の再保存は実施してください

ServerSettings文書内のファイルパス変更

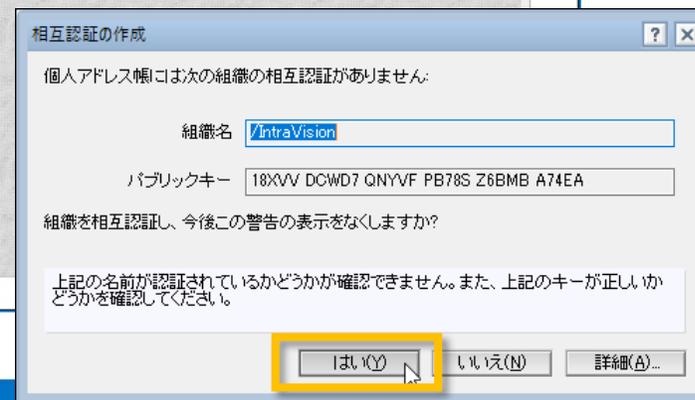


- OnTimeGC Configのデータベースを開き、OnTimeAdminサーバーのServerSettings文書を編集します
- Database Settings内のそれぞれの「Filepath」/「filename」の値を修正し「Save&Close」ボタンで文書を保存して閉じます
※二回目以降の実施時、値の修正が不要な場合でも文書の再保存は実施してください

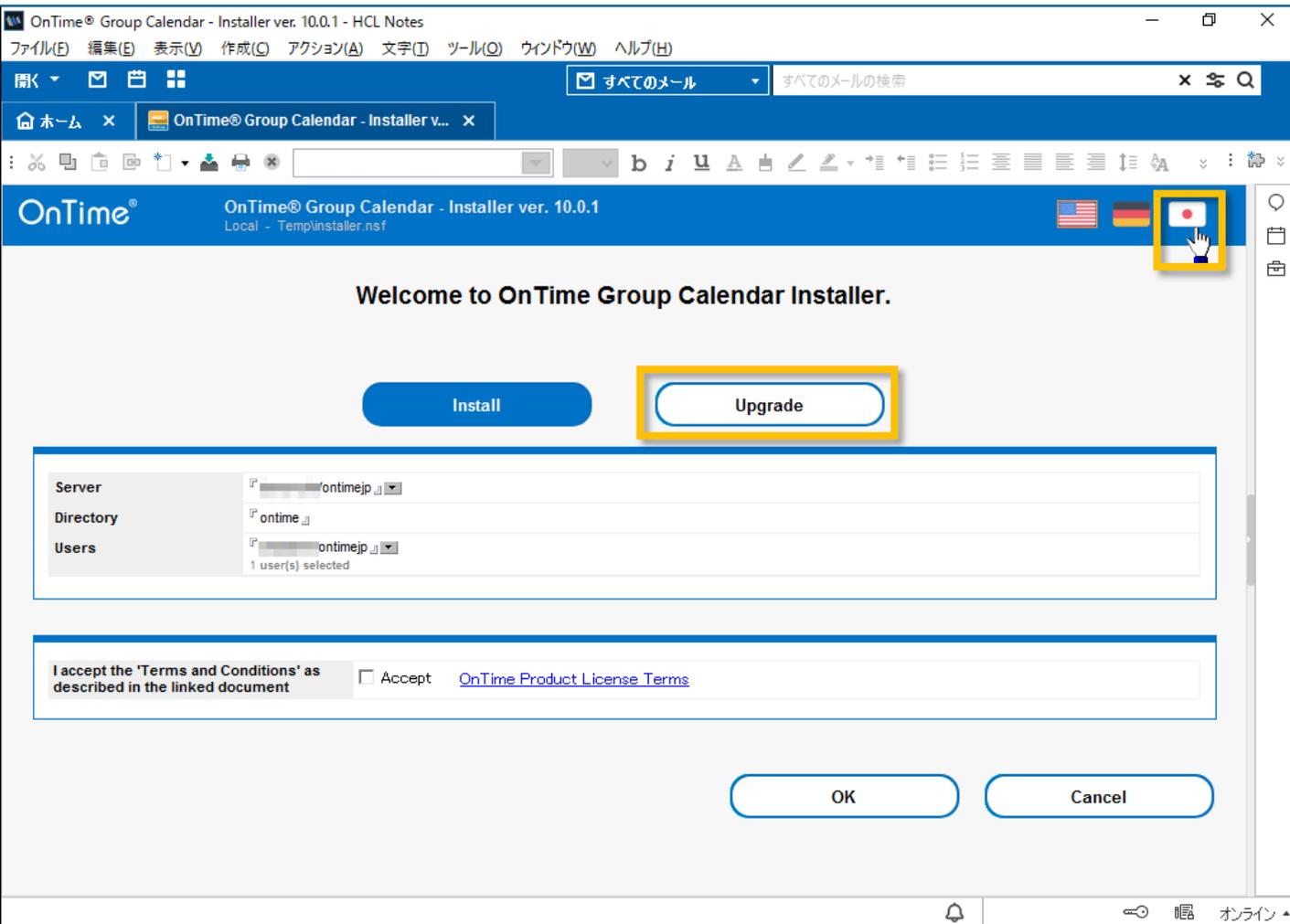
Notesクライアントから Installer.nsf の起動



- Notesクライアントで Ctrl+O のショートカット等で「アプリケーションを開く」ダイアログを開きます
- 作業端末上に配置したTempフォルダ内の Installer.nsf ファイルを選択し、開きます
- この操作一連の中で相互認証の作成ダイアログや署名の実行セキュリティ警告ダイアログが表示された場合は「/Intravision」であることを確認し「はい」で進んでください

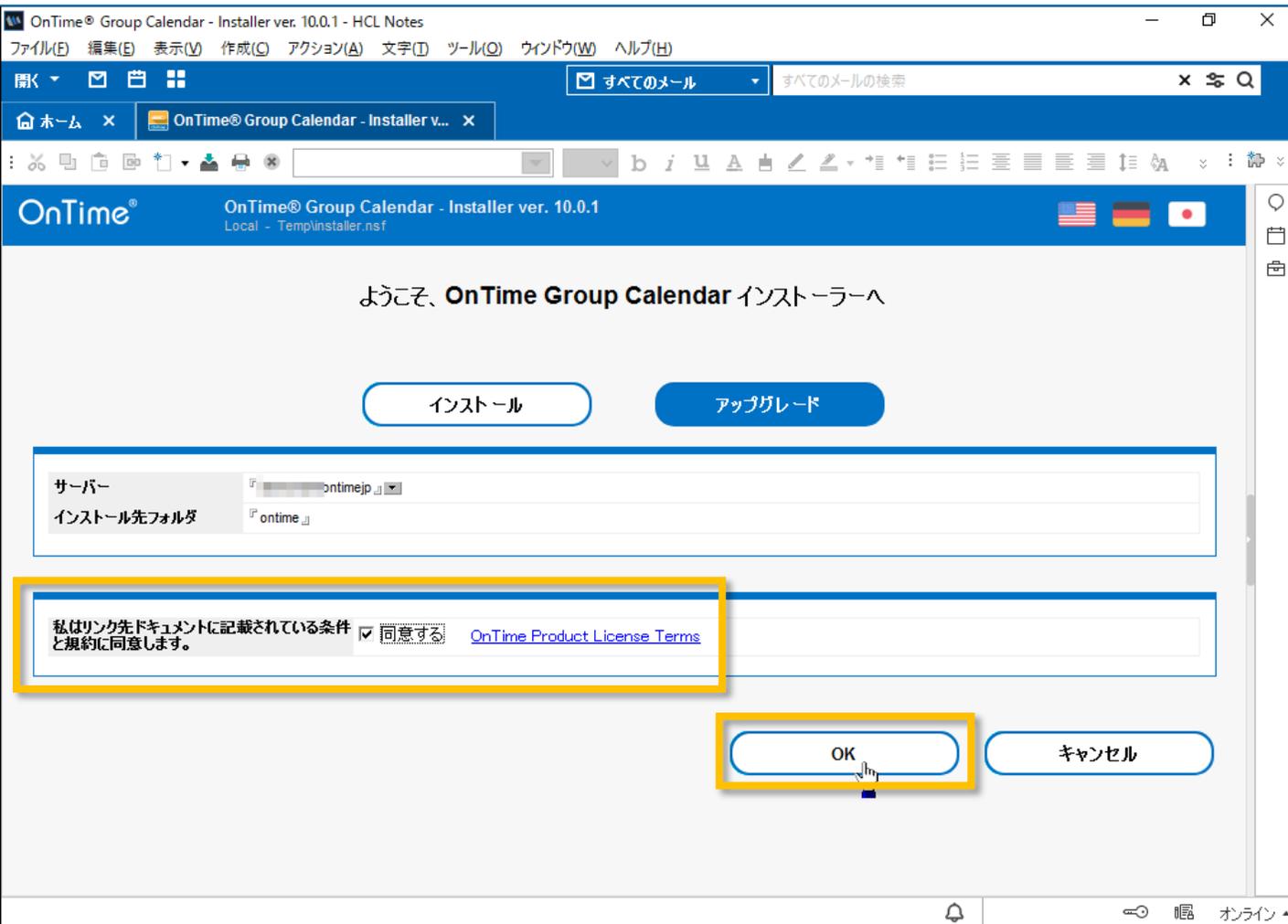


アップグレードの実行 1



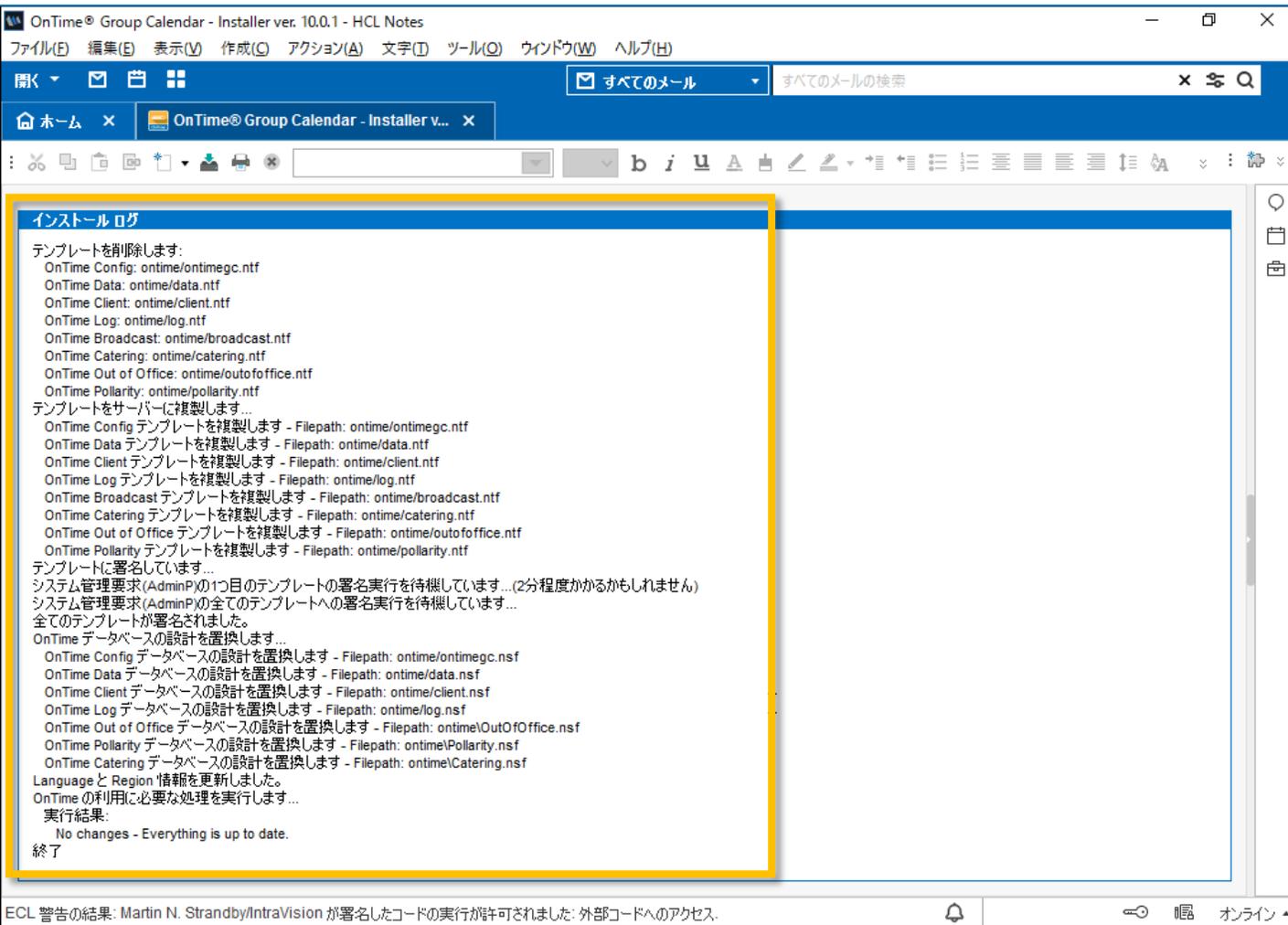
- Installer.nsf を開くと英語版で開きます
- 画面右上の日本アイコンをクリックすると日本語化されます
- 「アップグレード」を選択します

アップグレードの実行 2



- 「OnTime Product License Terms」のリンク先の内容に同意する場合「同意する」にチェックを入れます
＜リンク先＞
<https://ontimesuite.com/en/domino/buying/license-terms>
- 画面下「OK」ボタンを押すとOnTimeのアップグレードが始まります
※アップグレード進行中はNotesクライアントが利用できませんご注意ください

アップグレードの実行 3



- アップグレードの処理が完了するとログが表示されます
表示内容にエラー表記がなければ完了しています

※複数サーバー構成の場合のみ ServerSettingsビューで各設計のアップグレード



The screenshot shows the OnTime GC - Config interface. The 'Server Settings' view is active, displaying a table of servers. A yellow box highlights the 'Upgrade Design' button in the top right corner of the table. A yellow arrow points from this button to a dialog box titled 'Upgrade Design'. The dialog box contains the following text:

Using the following templates during upgrade:
OnTime® Group Calendar - Client ver. 10.0.1
OnTime® Group Calendar - Data ver. 10.0.1
OnTime® Group Calendar - Log ver. 10.0.1
OnTime® Group Calendar - Out of Office ver. 10.0.1
OnTime® Group Calendar - Pollarity ver. 10.0.1
OnTime® Group Calendar - Catering ver. 10.0.1
OnTime® Group Calendar - Broadcast ver. 10.0.1

Continue?

はい(Y) いいえ(N)

※OnTimeサーバーが1台のみの場合は
本手順は不要です

- 複数サーバーの場合は本手順で設計を反映させます
- Adminサーバー以外のServerSettings文書を編集して保存してください
- ServerSettingsビューでServerSettings文書を選択した状態で「Upgrade Design」をクリックします
- 表示されたダイアログに新しいVerが記載されていることを確認して「はい」を押します
- 正常に完了した場合はメッセージ用に処理したデータベース数が表示されます

※複数サーバー構成の場合のみ ServerSettingsビューでServlet更新



The screenshot shows the OnTime GC - Config interface. The 'Server Settings' section is active, and the 'Manage Servlets' dialog box is open. The dialog box contains the following information:

- Servlets:** Main Servlet, Exchange Servlet
- Directory to install servlets in:**
- *The HTTP task will be restarted if needed.**
- Buttons:** OK (highlighted), キャンセル

※OnTimeサーバーが1台のみの場合は
本手順は不要です

- OnTimeのAdminサーバー以外のサーバーでの
タスクとサーブレットのアップグレードを行います
※1サーバーずつ実行してください
- マウスカーソルをそのサーバーにフォーカスを当て
ます
- アクションボタンの「Install/Update」から
「Task & Servlets」を選択して実行します

データのリフレッシュ作業 1



The screenshot shows the OnTime GC - Config application window. The 'Task Commands' menu is open, and the 'Admin' option is selected. A 'Server Commands' dialog box is displayed in the foreground, showing a warning icon and the message 'Command sent to selected servers.' The 'OK' button in the dialog box is highlighted with a yellow box. The background interface shows a table of servers with columns for 'Server Name', 'Info', 'Admin', and 'Client Database'. The 'Admin' column has a green checkmark for the selected server.

- OnTimeのバージョンアップでは最新機能のために新しいデータを必要とする場合があります
- アクションボタンからAdminを実行してください
- 画面上に実行指示が管理サーバーのコンソールに飛んだことを示すメッセージが表示されます
- 実際に動作したかはOnTime管理サーバーのサーバーコンソールをご確認ください

データのリフレッシュ作業 2



The screenshot shows the OnTime GC - Config web interface. The 'Task Commands' menu is open, and the 'Sync' option is selected. A 'Server Commands' dialog box is displayed in the foreground, showing a warning icon and the message 'Command sent to selected servers.' The 'OK' button in the dialog is highlighted with a yellow box.

- 同じくメールDBからもバージョンアップ作業中に更新された新しい予定データを取得するためにSyncを実行してください
- 画面상에実行指示が各サーバーのコンソールに飛んだことを示すメッセージが表示されます
- 実際に動作したかはOnTimeの各サーバーのサーバーコンソールをご確認ください

データのリフレッシュ作業 3



The screenshot shows the OnTime GC - Config web interface. The 'Task Commands' menu is open, and 'FullSync' is selected. A 'Server Commands' dialog box is displayed with the message 'Command sent to selected servers.' and the 'OK' button is highlighted.

- 続いてFullSyncも行います

※SyncとFullSyncの違いについてですが FullSyncは未処理かどうかにかかわらず全ての同期対象期間の予定データを同期します

FullSyncでは新バージョンで必要となった新しいアイテム情報なども取得できます

なので本来はFullSyncだけで良いのですが 処理完了に時間が掛かるため、先に処理完了の早いSyncを実行しておきます そうすることでクライアントが動作可能な状態をいち早く準備できます

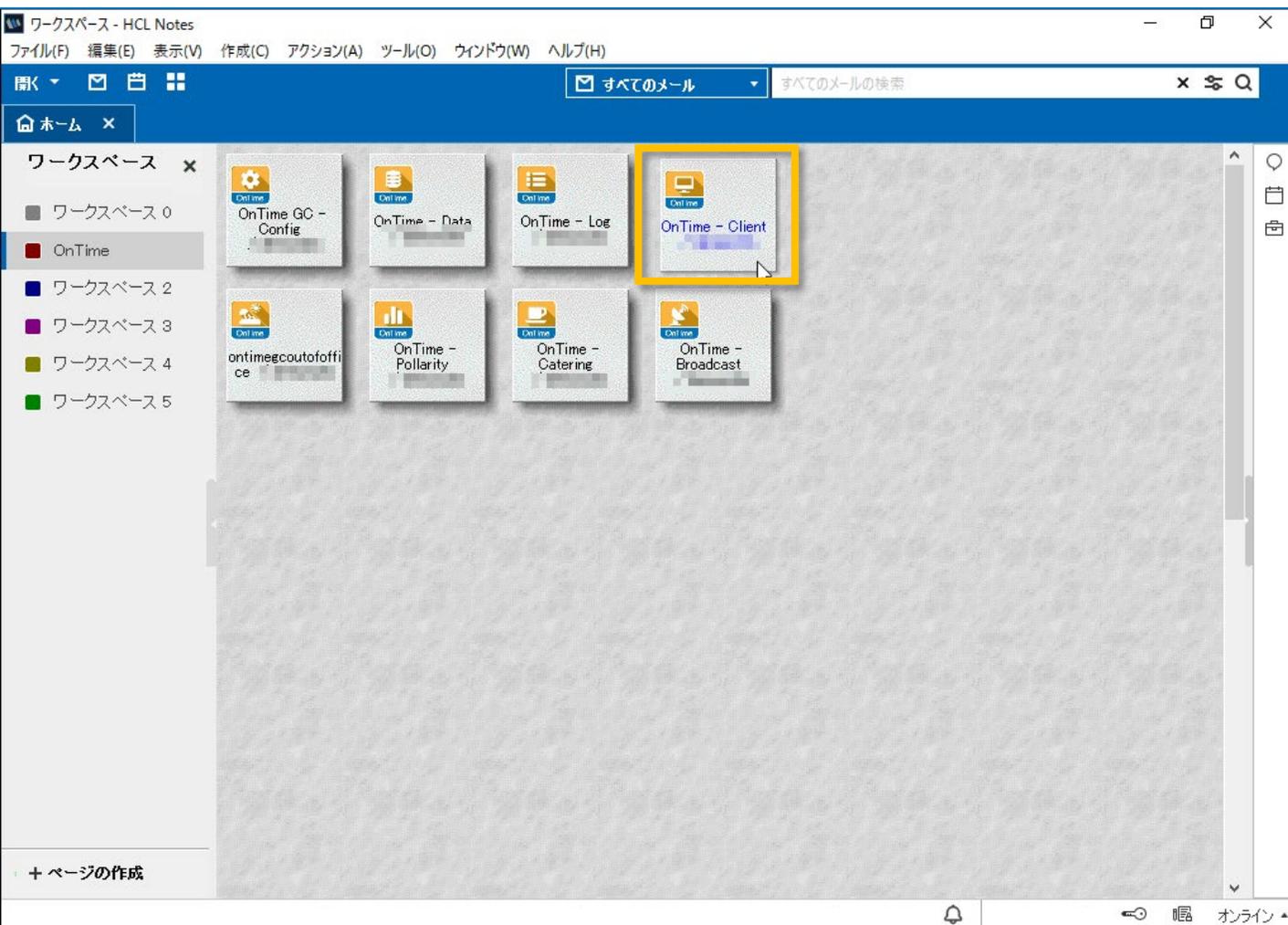
データのリフレッシュ作業 4



User Name / Email	ID	LastSync	LastFullSync	Use	Items Count
Dummy1 User1/ontimejp	B	2022/12/04 20:00:01	2022/11/28 12:00:00		
Dummy1 User2/ontimejp	13	2022/12/04 20:00:01	2022/11/28 12:00:00		
Goro Hakata/ontimejp	R	2022/12/05 11:37:39	2022/11/28 12:00:01		31
Ichiro Tokyo/ontimejp	N	2022/12/04 20:00:03	2022/11/28 11:29:31		15
Jiro Nagoya/ontimejp	O	2022/12/05 09:00:01	2022/11/28 12:00:01		10
MeetingRoom1/Nagoya-Sakae	6	2022/10/11 16:19:15	2022/10/11 16:19:13		
MeetingRoom2/Nagoya-Sakae	9	2022/10/11 16:19:15	2022/10/11 16:19:14		
MeetingRoom3/AAA/Osaka	A	2022/10/11 16:19:15	2022/10/11 16:19:14		
nanaro Hiroshima/ontimejp	X	2022/12/05 09:00:02	2022/11/28 12:00:02		2
otdadmin/ontimejp	1	2022/12/05 11:37:39	2022/12/05 11:37:29		31
Rokuro Naha/ontimejp	S	2022/12/05 09:00:02	2022/11/28 12:00:02		11
Saburo Osaka/ontimejp	P	2022/12/04 17:00:01	2022/11/28 11:29:30		91
Shiro Kobe/ontimejp	Q	2022/12/04 20:00:01	2022/11/28 12:00:00		91
Team-A/ontimejp	D	2022/12/04 20:00:01	2022/11/28 12:00:01		
tokyo@ontimedemo.com	S1	2021/03/09 00:00:01			24
フリーアドレス1/Osaka	11	2022/10/11 16:19:15	2022/11/28 11:29:33		21
フリーアドレス2/Osaka	12	2022/10/11 16:19:15	2022/11/28 11:29:33		11
プロジェクト1/備品/Osaka	T	2022/10/11 16:19:15	2022/11/28 11:29:33		21
プロジェクト2/備品/Osaka	U	2022/10/11 16:19:15	2022/10/11 16:19:13		11
プロジェクト3/備品/Tokyo1	V	2022/10/11 16:19:15	2022/10/11 16:19:13		11
プロジェクト4/備品/Tokyo1	W	2022/10/11 16:19:15	2022/10/11 16:19:13		11
会議室1/Osaka	2	2022/10/11 16:19:15	2022/10/11 16:19:12		31
会議室2/Osaka	3	2022/10/11 16:19:15	2022/11/28 11:29:33		21
会議室3/Tokyo1	4	2022/10/11 16:19:15	2022/10/11 16:19:12		21
会議室4/Tokyo1	5	2022/10/11 16:19:15	2022/10/11 16:19:13		11
会議室5/Osaka	E	2022/10/11 16:19:15	2022/10/11 16:19:13		11
会議室6/Osaka	F	2022/10/11 16:19:15	2022/10/11 16:19:13		11
会議室7/Tokyo1	G	2022/10/11 16:19:15	2022/10/11 16:19:13		11
会議室8/Tokyo1	H	2022/10/11 16:19:15	2022/10/11 16:19:13		11

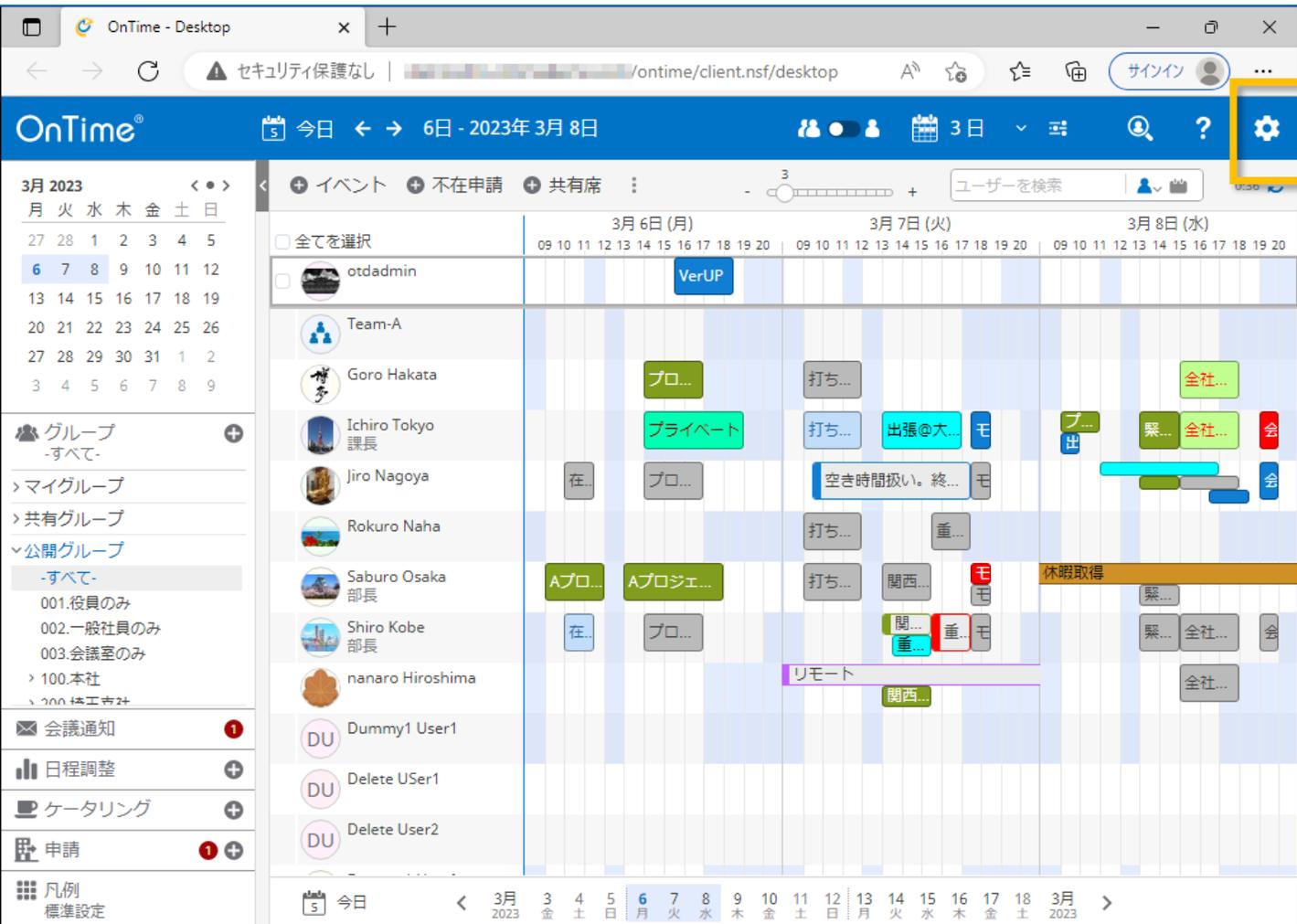
- OnTimeのDataデータベースを開きます
- 左サイドメニューのCalendarsを選択してビューに全員のCalendars文書を表示します
- 列をクリックしてソートを切り替えるとLastFullSync や LastSync の実行結果が確認できます

クライアントで動作確認 1



- 正常にアップグレードが完了したら、クライアントを起動して確認しましょう
- OnTimeを利用している端末やユーザーに切り替えてください
- ノーツクライアントからご利用の場合はワークスペースからアイコンをダブルクリックして起動してください
- ブラウザでご利用の場合はいつものURLに接続して起動してください

クライアントで動作確認 2



- 正常に画面が起動したら完了です
- 正常に起動しない場合は何かしらの設定か作業環境が正常ではありません
作業をストップしてDominoシステム管理者にご相談ください
- ギアアイコンをクリックします

クライアントで動作確認 3



The screenshot shows the OnTime desktop application interface. The top navigation bar includes the OnTime logo, a calendar for March 8, 2023, and a settings gear icon. A modal window titled '保存' (Save) is open, displaying various settings for the user. The 'OnTimeについて' link in the top right corner of the modal is highlighted with a yellow box. The main interface shows a calendar view for March 6, 2023, with a list of users and their status for that day. The settings page includes sections for '基本' (Basic), '起動時' (Startup), and '出席可能時間' (Attendance Possible Time).

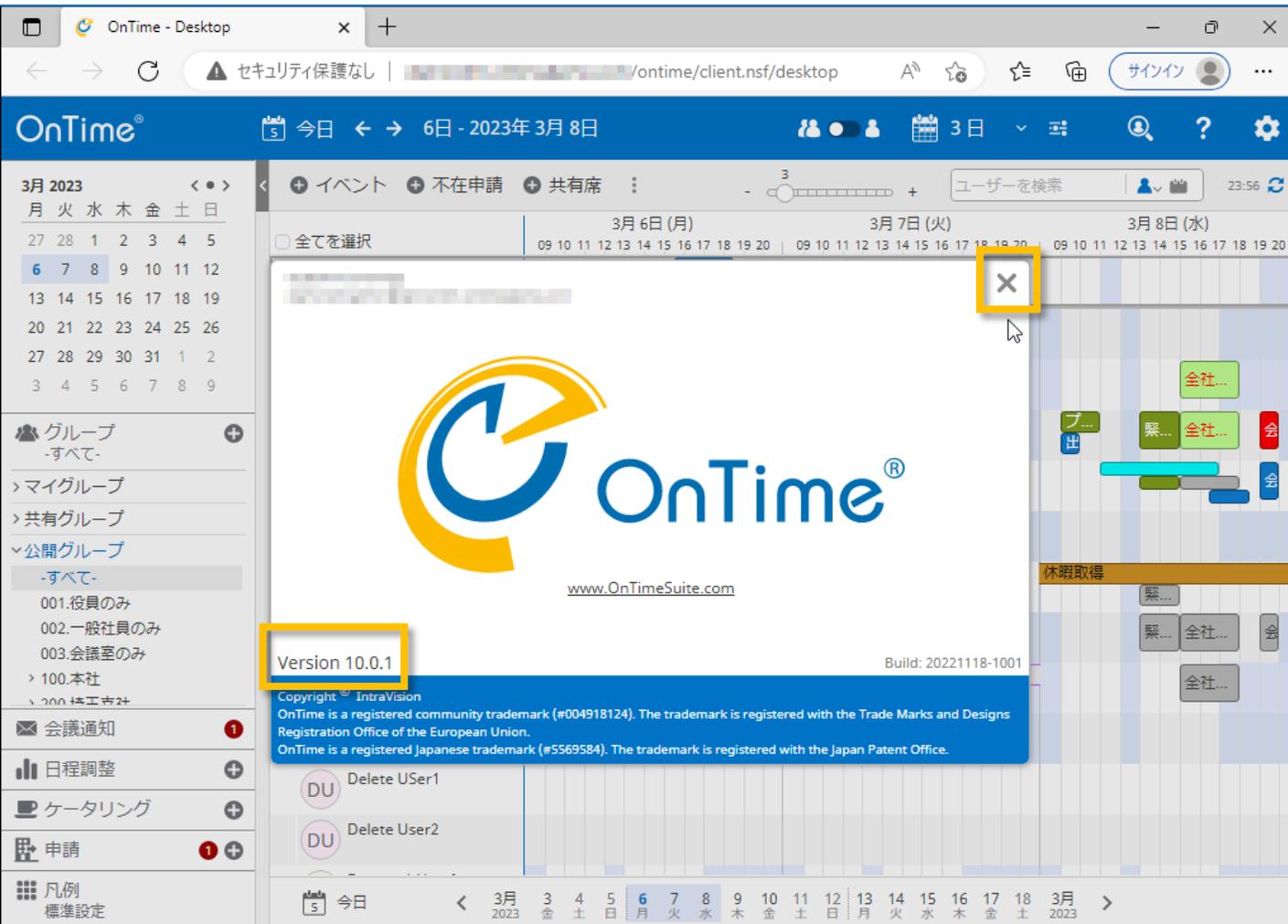
基本	設定
使用言語	日本語
表示形式	日本語 (月曜始まり)
[作成先に通知する]の初期値	はい いいえ

起動時	設定
ビュー	最後に開いていたビュー
表示グループ	最後に開いていたグループ

出席可能時間	設定
タイムゾーン	(GMT+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo
	(例: 09:00 - 12:00, 12:30 - 17:00)
月	06:00 - 11:00, 12:00 - 19:00
火	06:00 - 11:00, 12:00 - 19:00
水	06:00 - 11:00, 12:00 - 19:00
木	06:00 - 11:00, 12:00 - 19:00
金	06:00 - 11:00, 12:00 - 19:00
土	08:00 - 11:00, 12:00 - 16:00
日	08:00 - 11:00, 12:00 - 16:00

- OnTimeの設定画面が表示されます
- 「OnTimeについて」をクリックします

クライアントで動作確認 4



- バージョンアップしたバージョン名が表示されているか確認します

※バージョン名がバージョンアップ後と違う場合は何かしらの設定か作業環境が正常ではありません
作業をストップしてDominoシステム管理者にご相談ください

- 閉じる場合はダイアログの右上の×をクリックします

引き続き新機能の設定も行ってください



- 一部の新しい機能については設定が必要な場合もあります
- 設定はコンフィギュレーションマニュアルに基づいて行ってください
- 主な新しい機能はリリースノートに記載しています